

フランシスカン神父&修道士による 能登半島地震被災者支援と報告

瀬田修道院から元田勝哉神父、豊田知彦修道士の2名が2月9日、被災者支援の拠点となっている名古屋教区「のとサポートセンター」(金沢教会)に向けて、車2台で出発しました。

そこから羽咋教会へ移動し、水の配布とボランティアセンター開設の準備。また、富山湾側の七尾教会で「じんのび食堂」を支援しています。「じんのび」は方言で、「ゆったり」「のんびり」という意味です。



2/10 (土)

5:00 金沢教会出発

※軽トラのフロントガラスが凍結していたので、水と布巾で対応。

6:40 羽咋教会着

移動の際、道路やインフラがところどころ破壊されているため、Google マップ上の時間の2倍はかかるのが現状です。

2/11 (日)

7:50 金沢教会出発

9:25 七尾教会到着→準備へ

①「じんのび食堂」11:30～14:30



②水(生活用水)の配達支援

- ・未だ七尾には、水が供給されていない。
- ・行政が配布する水を取りに行けない方々のために、水を配布する。
- ・2人1組で働く。
- ・被災者様(地域の方)の話をお聴く。



2/12 (月)

羽咋教会のベースづくり

2/13 (火)

輪島教会の厳しい現状をお伝えいたします。

未だ水は復旧しておらず、3月中も復旧は難しい模様。

今の所、物資の受け入れは早計のようです。実働する人材がとられるためです。

献金がシンプルにありがたいです。現地で身動きが取れない方々に渡せるからです。

献金の振込先はこちら

カトリック名古屋教区「のとサポートセンター」

住所：〒920-0962 金沢市広坂1-1-54

カトリック金沢教会内

センター長：片岡義博神父

メールアドレス：noto.saposen@gmail.com

《振込先》

郵便振替口座番号：00810-5-50605

加入者名：カトリック名古屋教区

通信欄に、「のと地震」または「のと」や「NOTO」

などとお書きください。

2/14 (水)

7:00 朝の祈り（教会の祈り）

10:00 灰の水曜日のミサ（七尾教会にて）



昼過ぎ 水支援へ（七尾の地域中心）

支援先のおばあちゃん（88歳）は基本、雨水を溜めて使用しています。

水復旧の見通しも、4月以降になるかもと言っていました。早く水が通ることを願っています。

2/16 (金)

7:00 羽咋教会にて司教ミサという恵み



瀬田修道院から出発する時に持っていったオムツと防臭ポリ袋が、水支援で出会った母子に喜ばれました。

生理用品も含めこういった消耗品は、大量でなければ、下記の住所に送ってくださればありがたいです。

〒925-0054

石川県 羽咋市 千里浜町 イ 30

カトリック羽咋教会

のサポートセンター

元田勝哉 宛



支援対象や要望が、コロコロ変わる現状ですが、少しでも困っている人たちの助けになればと思っています。

あわててはいません。お時間のある時にお問い合わせいたします。

2/17 (土)

7:00 朝の祈り（教会の祈り）

8:30 羽咋ベースの掃除、ボランティア受け入れのための資材の購入、布団などの設置、軽トラの整備。

午後 水支援

- ・本日、避難所から自宅に帰ってくる方に飲料水を届ける。
- ・2台目の軽トラの荷台に300ℓのものを設置。



2/18 (日)

7:00 朝の祈り（教会の祈り）

8:30 軽トラ（水積み済み）で七尾教会へ

10:00 七尾教会にてミサ

11:30～ じんのび食堂（※能美市からシェフが来ていてイタリア料理。）

随時 水支援

- ・17日、七尾教会に水（生活用水）が復旧した。
- ・飲料水を届ける。

「じんのび食堂」（カトリック七尾教会 ミサ後の炊き出し）で聞いた声……



★水は出るようになったので、出来ていなかった家の片付けを初めた、片付けの途中で休憩しながら来ました。

★片付けをして出た災害ゴミを集積所に持ち込むだけで2～3時間待つのは普通で、大変です。

★コロナ禍以降、再開出来るようになった地域のお祭りが、これでは出来なくなっただしょうね、残念です。

★実家は能登町ですが、高齢の自分は再建出来ない。息子が定年後に移り住むと話していたけれど、この間、見たら残念がっていて、もう無理でしょうね……。

「じんのび食堂」ではゆっくり時間を過ごしながら、それぞれが思いを分かち合っていました。